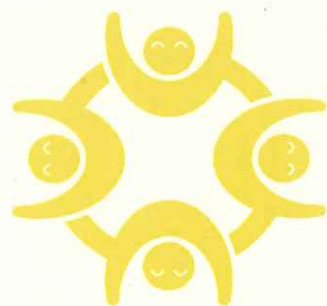


社会福祉法人かがやけ福祉会

2021年度事業報告 (令和3年度)

+

かがやけ福祉会 法人本部	1 頁
かがやけ共同作業所	1 1 頁
かがやけ第2共同作業所	1 4 頁
グループホーム	1 7 頁
相談支援センターかがやけ	1 9 頁



かがやけ

令和4年6月24日
かがやけ福祉会

2021年度 法人本部事業報告

I 理事会の開催 年5回開催した。

第1回理事会（通算124回） 2021年5月28日

- 第1号議案 2020年度事業報告
- 第2号議案 2020年度決算報告
- 第3号議案 監事監査報告
- 第4号議案 社会福祉充実計画
- 第5号議案 2021年度 第1回評議員会の開催
- 第6号議案 次期役員候補者の推薦
- 第7号議案 次期評議員選任・解任委員会委員の選出

第2回理事会（通算125回） 2021年6月23日

- 第1号議案 理事長及び常務理事の選任
- 第2号議案 かがやけ第2共同作業所 大規模修繕

第3回理事会（通算126回） 2021年10月27日

- 第1号議案 給与・退職金の改正
- 第2号議案 かがやけ第2共同作業所外壁・防水等修繕工事
- 第3号議案 2021年度 第一次補正予算
- 第4号議案 2021年度 第2回評議委員会の開催

第4回理事会（通算127回） 2021年12月22日

- 第1号議案 常用職員就業規則の改正
- 第2号議案 期間契約職員就業規則の改正

第5回理事会（通算128回） 2022年3月22日

- 第1号議案 2021年度 福祉・介護職員処遇改善加算（I型）及び福祉・介護職員特定処遇改善加算による2022年3月処遇改善手当支給額の変更
- 第2号議案 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による賃金改善
- 第3号議案 2021年度 二次補正予算
- 第4号議案 かがやけ共同作業所運営規程の改正

- 第5号議案 かがやけ第2共同作業所運営規程の改正
- 第6号議案 かがやけ寮運営規程の改正
- 第7号議案 エタンセール運営規程の改正
- 第8号議案 相談支援センター運営規程の改正
- 第9号議案 2022年度 事業計画
- 第10号議案 2022年度 職員体制及び団体への派遣
- 第11号議案 2022年度福祉・介護職員処遇改善加算（I型）による賃金改善及び2022年福祉・介護職員等特定処遇改善加算による賃金改善
- 第12号議案 給与・退職金規程の改正
- 第13号議案 2022年度 当初予算
- 第14号議案 役員等賠償責任保険の契約

II 評議員会の開催

年2回開催した。

第1回評議員会（通算77回） 2021年6月23日

- (1) 第1号議案 2020年度 事業報告
- (2) 第2号議案 2020年度 決算報告
- (3) 第3号議案 次期理事・監事の選任
- (4) 第4号議案 社会福祉充実計画

第2回評議員会（通算78回） 2021年11月18日

報告事項

- (1) 理事長の職務執行状況報告
- (2) 常務理事の職務執行状況報告
- (3) その他

評議員選任・解任委員会 2021年4月23日

第1号議案 社会福祉法人かがやけ福社会次期評議員候補者推薦書

III 運営協議会の開催

年2回開催した。

第1回運営協議会 2021年8月4日

新型コロナウイルス感染症予防のため、書面にて開催した。

- ・ 2020年度事業報告・決算について
- ・ 2021年度事業計画・予算について
- ・ 行事予定表
- ・ 運営協議会規程と委員名簿

第2回運営協議会 2021年12月8日

- ・ 法人本部からの報告
 - ・ 法人体制（評議員・理事・運営協議員会）
 - ・ 理事長職務報告執行
 - ・ 常務理事職務執行報告
- 法人報告及び各委員からの報告をおこなった。

IV 借入金の償還

かがやけ第2共同作業所建設借入金分として（2004年 5,250万円借入）
（単位：円）

	元金	利息	合計	償還期日
第32回次	2,620,000	83,840	2,703,840	2021.5.10
第33回次		62,880	62,880	2021.11.10
合計	2,620,000	146,720	2,766,720	

残高 7,860,000円
最終償還日 2024年5月10日

V 事業の展開

- 1 第二種社会福祉事業障害福祉サービス事業の経営
 - ・ 生活介護 かがやけ共同作業所
 - ・ 就労継続支援B型 かがやけ第2共同作業所
 - ・ 相談支援事業 相談支援センターかがやけ
 - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） かがやけ寮
（ユニット：ブリエ（旧かがやけ寮）、リベルテ、ラヴァンス）
 - ・ 共同生活援助（介護サービス包括型事業所） エタンセール
（ユニット：エタンセール、アルクアンシェル、フューチャー）
- 2 公益事業
 - ・ 葛飾区より在宅心身障害者緊急一時保護事業の受託

VI 今年度の事業報告

1. 経営・組織強化のために

(1) 理念の実現

新型コロナウイルスの影響により、全体会の開催を行なえず、職員一人ひとりに理念の4つの取り組みから、ひとつを選び、目標について記入してもらい、年度末にそれぞれ振り返りをおこなった。

(2) 経営組織の確立と強化

新型コロナウイルス感染症の拡大で、利用者、保護者、職員が罹患するなど、昨年を引き続き、その影響は運営に大きな影響を及ぼした。

感染者の発生や感染の疑いがある場合、通所事業所の全部閉鎖や一部閉鎖またはグループホーム内待機を行ない、PCR検査を速やかに行う等、感染症からなかまの健康、命を守るために、感染症対策を強化徹底してきた。

更に感染対策を十分に行いながらも、職員が様々な工夫をし、作業所の中で、グループホームの中で、楽しい企画を計画し、生活を出来る限りゆたかにしていく取り組みを行なった。

事業所を超え、感染対策の現状と課題を把握するために、コロナ対策チームを主任が中心となり立ち上げ、各グループホームを回り、点検や、提言を行なった。

2021年度は、理事、評議員の改選期にあたり、4月の評議員選任・解任委員会で評議員が全員再任され、6月の評議員会で理事が全員再任された。また、その後の理事会で、理事長、常務理事が再任された。

法人事務局会、管理職会議を定例開催し、法人の課題や事業所の課題について論議し、法人運営の進捗状況の把握、進行、充実に努めてきた。

新しいグループホームの開設に伴い、人事異動、人財確保に力を入れ、運営体制の強化を図ってきた。

(3) 5か年計画の推進

5か年計画に基づき、その進捗状況を事務局会、管理職会議で確認し、進めてきた。後期より、5か年計画の最終日に2021年度があたるため、成果と課題をまとめる作業を行ない、5か年計画の総括版を3月に作成した。

また、なかま、保護者、職員を対象に法人運営や支援内容の要望等のアンケートを取ってきた。これを土台に、次の5か年計画を作成し

ていく。

(4) 財政計画

財政計画について、各事業所の大規模修繕、新規施設整備について、数字を明らかにしてきたが、今後の実施についての評価検討、分析を行う時間を設ける事ができず、法人として論議が充分でなかった。

その中でも、かがやけ第2共同作業所が外壁工事を行ない、ハードの面で、将来に備えることができた。

今年度、将来のために、施設整備費等積立金を401万円積み立てることができた。

2021年度決算では福祉充実残額が生じなかった。

補助金の活用を積極的に行った。

- ・かがやけ共同作業所 葛飾区福祉業務車両購入費補助金
- ・エタンセール 東京都知的・身体障害者グループホーム開設準備経費等補助金

(フューチャー開所のため)

(5) 危機管理体制・災害対策

ア 防災対策

かがやけ福祉会防災マニュアルに基づき、全職員が学習し、訓練等も実施していく予定であったが、新型コロナウイルスの影響もあり、実施をみあわせた。事業継続計画づくりも着手できなかった。

イ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が拡大し、利用者と職員の命を守る為、様々な対策を講じてきた。

2021年度、東京都において、5月感染者が5,000人、また1月には1万人の感染者が発生し、各事業所も緊張が走る中、全事業所に対する感染症予防対策の徹底、感染の広がりを抑えるための防護対策や、全職員対象にPCR検査の実施(グループホーム週1回、通所月1回)、感染リスクが高い利用者や職員への自宅待機の指示を行った。また、方針の実行を現場に委ねるのではなく、その状況を本部が把握しながら、相談や指示だしができるようにしてきた。現場レベルでも、主任による感染症対策チームが立ち上がり、各職場の現状や職員の意見の吸い上げ、対策の提案ができるよう行動してくることができた。

① 新型コロナ発生状況

2021年

4月	かがやけ第2共同作業所	利用者1名
6月	グループホーム	利用者1名

2022年

1月	かがやけ第2共同作業所	職員1名
	グループホーム	職員1名
2月	かがやけ共同作業所	職員2名
	かがやけ共同作業所	利用者1名
	グループホーム	職員1名
3月	かがやけ第2共同作業所	職員1名
	グループホーム	職員1名

計 利用者 3名
 職員 7名
 (全員軽症)

(6) 虐待防止委員会の定例化と虐待防止研修の実施

事業所ごとに虐待防止委員による研修会を行ない、支援の充実をめざした。研修会に参加できない職員に対し、チェックリストの活用やサポーターズカレッジの動画による研修をおこなってきた。日頃の支援を振り返る良い機会になったが、継続して行うことができなかった。

(7) 内部監査の充実

法人内での内部監査（5月、11月）を実施するとともに、監事による中間監査（11月）を実施し、業務内容を見直す機会を設けた。

(8) 職員の働きやすい職場づくり

2021年度は、メンタルによる休業者がでたこともあり、職員の悩みや不安の軽減を図るため、管理職会議にて、メンタルヘルス対策についての学習会を開催、相談窓口を設置してきた。

送迎業務のあるかがやけ共同作業所において、事故防止と運転経験の浅い職員の新人教育の一環として、自動車学校の「安全運転講習」に職

員を派遣した。

引き続き、職員が安心して働き続ける職場めざし、職場の労働環境改善のための課題整理、課題解決のための方策を話し合う場を設ける。

労働条件改善について次のことを行ってきた。

- ・引き続き、処遇改善加算 1 型、特定処遇改善加算 1 型の取得による賃金改善
- ・福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金による賃金改善
- ・引き続き、若手職員の給与改善（基本給 2.1 万円未満の職員を対象に特別昇給）
- ・新型コロナウイルス感染症対応手当規程により、感染の疑いのある者への支援、陽性者の支援、濃厚接触者への支援をした職員に対し手当を支給した。

延べ 19 名 177,000 円

(9) 運営協議会、合同保護者会の充実

運営協議会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、第 1 回については、8 月 4 日に書面開催し、第 2 回は、12 月 8 日に開催し、法人報告及び各委員からの報告をおこなった。

合同保護者会は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、開催しなかった。

(10) かがやけ福社会後援会との連携

担当理事をきめ、後援会事務局会議に参加することで、連携を図ってきた。

2. 事業と実践の展開

(1) 短期入所機能を備えた介護サービス包括型グループホームの新規創設とユニット増

5 月 1 日、エタンセールのユニットとして「フューチャー」（定員 7 名）を開設した。

かがやけ共同作業所の利用者の男性 4 名、女性 3 名の 7 名（内 3 名が車椅子使用者）が入所することができた。

短期入所事業（定員 1 名）については、翌年度開設を目指している。

なお、このグループホームの建物は、地主さんの厚意により、かがや

け福祉会の希望に沿った建物を建築していただき、30年間の賃貸契約により借りた物件である。

(2) 利用者の高齢化、重度化に対応可能な日中活動とくらしの場の充実

PTによるリハビリ支援の時間や、一人ひとりのリハビリメニューを設け、実施してきた。グループホームと通所が連携し、本人の認知症への対応や保護者の高齢化への対応をしてきた。

かがやけ共同作業所、エタンセールにおいて医療的ケアを必要とする利用者を支援していくために、たん吸入研修を受講し、たん吸入実施の資格をとり、体制を整えてきた。

(3) 居宅介護事業所の開設を検討

具体的な検討をすることができなかった。

3. 人財の育成

(1) 人財確保

採用

民間求人サイトによる職員募集に力を入れ、4月に正規職員5名採用した。

かがやけ共同作業所 支援員1名、(新卒1名)

グループホーム 支援員4名(新卒3名 既卒1名)

また、4月以降一年を通じて、期間契約職員からの登用及び中途採用者合計8名を採用した。

かがやけ共同作業所 支援員2名

かがやけ第2共同作業所 支援員1名 栄養士1名

グループホーム 支援員3名 事務 1名

退職

年度内に5名が退職した。

かがやけ共同作業所 支援員1名

かがやけ第2共同作業所 支援員1名 栄養士1名

グループホーム 支援員1名

(2) 人財育成

かがやけ福祉会の歴史、理念の継承のため、管理者の育成や次世代の人

財育成に力を入れ、目的意識的な人財育成を進めてきた。

ア 職員ハンドブックの作成に取り組みます。

作成の準備をしてきたが、完成にはいたらなかった。引きつづき、作成に取り組んでいく。

イ 管理職職員の研修の確立をしていきます。

管理職として求められる管理業務能力や実践推進の力量をつけるため、テーマを決め、研修をおこなってきた。

第1回	5月31日	指導監査について
第2回	7月26日	雇用管理について
第3回	11月19日	雇用管理改善について
第4回	12月17日	メンタルヘルスについて

ウ 資格取得支援規定を活用し、資格取得を促します。

資格取得支援規程活用職員なし

エ 研修システムに基づき、内容の充実を図り、職員の資質向上に努めます。

① 新人研修

- ・チューターを配置し、新人育成をはかった。
なお、年度中採用の職員については、翌年度実施予定である。
- ・法人研修担当者会主催の新規職員研修を実施した。
- ・サポーターズカレッジを活用した新人研修の開催を実施した
- ・東京都社会福祉協議会主催の階層別研修を受講した。
- ・職場交換研修の実施は、取り組めなかった

② 実践充実のための研修

- ・外部講師による法人全体研修の実施
2021年8月20日 オンライン研修
「支援の基本 寄り添う支援の在り方」
佐藤比呂二講師
- ・実践報告会の実施
2022年3月18日 オンライン研修
職員のレポート発表による実践報告
「高齢期を迎えるなかまたちを支えるために」

グループホームの在り方と課題

就労支援報告 かがやけ第2共同作業所

③ 外部研修への派遣

- ・管理者研修への研修派遣

2021年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、研修派遣は行わなかった。

- ・階層別研修への研修派遣

各事業所報告参照

- ・専門研修への研修派遣

各事業所報告参照

4. 地域への取り組み

(1) 広報活動の充実

- ア ホームページの充実

ホームページの更新を適切な時期に実施した。

- イ かがやけニュースの紙面の充実

かがやけニュースを、5月・7月・10月・12月・3月の5回発行した。

(2) 地域における公益的な取り組み

きょうされん映画「夜明け前」と「星に語りて」の上映会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止した。

毎年、かがやけ第2共同作業所の屋上を地域に開放し、葛飾区花火大会の観賞会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、花火大会が中止となり、開催できなかった。

(3) 地域との諸団体との連携

法人主催の地域に向けた学習会の開催や防災についての情報交換や連携などは、取り組めなかった。

2021年度 かがやけ共同作業所事業報告

今年度は、年度当初利用者数は54名、他事業所へ異動による退所者が3名、他事業所からの異動と在宅からの入所者が各2名おり、年度末利用者数は53名、年間平均利用率は84%（昨年度85%）であった。新型コロナウイルスに感染した利用者が1名、職員が2名いたがクラスターにはならなかった。

新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度も毎月の外出、一泊旅行、秋のなかままつりは中止とし、所内でレクリエーション等を行う所内活動を月1回実施、新たな行事として各班をリモートでつなぎ、8月に「夏のパーティー」、11月に秋の行事「秋だよ全員集合」、3月に「春のなかま行事」を行い、利用者の希望により、仮装大会や縁日、キッチンカー、模擬店等で楽しいんでいた。

生産活動（作業）では、公共機関等への定期出店やイベント中止による販売収益の減収を補うため、今年度も自主製品の詰め合わせ（10月にワクワクセット、2月にクッキーBOX）の企画販売を行い、売り上げの確保を図った。2018年度から始めた羊毛フェルト製品については、店舗や個人の方から定期的に注文をいただけるようになり、作年度以上の売り上げがあった。その他の作業についてもおおむね目標に近い収益があり、年間平均工賃は昨年度並みの月額5,160円を支給できた。

健康管理では、11月に所内でインフルエンザ予防接種を実施した、今年度も新型コロナウイルス感染症予防のためマスクの着用や3密回避の効果か、インフルエンザに罹患する方はいなかった。胃ろうの利用者に対して生活支援員による医療的ケアが実施できるように、たん吸引等の研修を今年度も受講してきたが、その方が11月から体調不良により入院し、胃ろうからCVポートによる栄養投与に変わったため、登録特定行為事業所の申請は見送った。

車両については、葛飾区の補助により車両1台を買い替えた。物損事故が多く発生したため、ビデオを使用した安全運転講習を所内で実施するとともに、新人職員と事故が多い職員について自動車学校での安全運転講習を実施した。

給食調理とクッキー製造において、HACCPに沿った衛生管理を実施するため、マニュアルの見直し、器具や環境の整備、ユニフォームの改善、調理用トイレの手洗いの自動水栓化などの改善を行った。

保護者会を休止しているため、利用者の活動の様子を写真などで伝える「えいえいお一通信」を年3回発行するとともに、家族の高齢化に対応するため、家庭訪問や利用者の通院同行、居宅サービス契約の立合いなどの支援を行った。

実習生受入れは、短大・専門学校4名、特別支援学校1名、在宅者1名を受入れた。

I 利用者状況 (2022年3月31日現在)

1. 事業種別 定員

- ・事業種別 生活介護事業
- ・定員 55名

2. 各月利用者数

(単位:人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	54	54	53	53	53	53
当月初	54	54	53	53	53	53
当月末	54	53	53	53	53	52
入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	0	1
利用率(%)	87	84	81	84	85	87
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	52	53	53	53	53	54
当月初	52	53	53	53	53	54
当月末	53	53	53	53	54	53
入所者	1	0	0	0	1	0
退所者	0	0	0	0	0	1
利用率(%)	87	87	87	73	77	83

- ・入所者 10月27日に他事業所から異動により1名入所
2月8日に在宅から1名入所
- ・退所者 5月31日に他事業所へ異動により1名退所
9月15日に他事業所へ異動により1名退所
3月31日に他事業所へ異動により1名退所
- ・年間平均利用率 84%

3. 男女別 男性30名 女性23名

4. 居住地別 葛飾区 52名 白井市 1名 松戸市 1名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均年齢
男	0	6	7	7	8	2	0	42歳
女	0	5	3	5	8	1	1	46歳
計	0	11	10	12	16	3	1	44歳
%	0	20	19	23	30	6	2	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	22
5	13
4	12
3	5
2	1
1	0
未判定	0
合計	53

※平均区分4.9

7. 通所方法	送迎利用者	40名 (全7コース)
	家族送迎者	2名
	自主通所者	11名

II 職員状況

1. 職員配置

1) 管理者	1名 (常勤1名)
2) サービス管理責任者	1名 (常勤1名)
3) 生活支援員	19名 (常勤16名、非常勤3名)
4) 看護職員	1名 (非常勤1名)
5) 栄養士	1名 (常勤1名)
6) 調理員	6名 (非常勤6名)
7) 事務員	1名 (常勤1名)
8) 運転職員	1名 (非常勤1名)

※兼務表記省略 2021年3月31日現在

2. 職員数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
常勤	19	19	19	19	19	19
非常勤	11	10	10	10	10	10
計	30	29	29	29	29	29
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	19	20	18	19	20	20
非常勤	10	10	11	11	11	11
計	29	30	29	30	31	31

各月当初人数

2021年度 かがやけ第2共同作業所事業報告

今年度は葛飾特別支援学校より1名新入所者を迎え54名の利用者が在籍。平均年齢38.8歳、年間平均利用率85.5%、退所者は2名。コロナ陽性者発生により4月に4日間、1月に3日間閉所した。

利用者支援では、日々のコロナ感染防止対策を取った上で作業、給食、イベント、クラブ活動などに取り組んだ。喫茶は1年間営業時間の短縮を維持、外部での定期販売、企画商品を提案し売上也全体として回復傾向に転じた。利用者リーダー会を中心に工賃規程改定（ボーナスや年度末手当の額、有給休暇の在り方について等）、館内イベントの食べ物や楽しい企画について話し合いを重ね、利用者主体、利用者の働き甲斐となるよう支援を行った。

調理班では、区内イベントや各学校の歓送迎会の中止や縮小開催による注文が無い状況下、春夏冬の長期休み期間中区内9か所の学童保育より1日100食以上の受注、ターゲットを夕食に当てた企画弁当（「行った気分弁当」「梅雨弁当」「秋の行楽弁当」「恵方巻」「ちらし寿司」）に1年通して取り組んだ。各弁当のおかずは、利用者が複数の料理雑誌を参考に意見を出し合い決めている。お菓子班では、月3回の定期的な外部販売や喫茶店内で販売する商品を計画的に製造。喫茶店では昼食時のイートインあるいはテイクアウト（1日10食程度）利用で地域のお客様が戻っている。またSDGsの取り組みとしてサトウキビ原料のストロー提供をはじめた。受注班では、感染防止対策として引続き33名を3部屋に分けて、学校教材の袋詰め、オルゴール組立、鉛筆の芯入れ箱詰めなどに取り組んだ。また今年度より区の共同受注窓口を利用し、ホテルで利用するタオル折作業の試行や新規作業の見学にも取り組んだ。公園清掃及びトイレ清掃には1年通して取り組みながら、施設内での清掃練習など担い手育成を行った。今年度の月平均工賃支給額は20,122円（前年度17,759円）であった。

就労支援については、一般就労者無し、これまでに就労された方々には電話連絡によりコロナ禍での就労状況の聞き取り、区役所実習20名参加、独自で「所内実習」を区施設の会議室を借用し実施した。

その他、クラブ活動では、昼休みを活用した階段昇降運動、及び放送委員会に取り組み、特に毎日多数の曲リクエストが利用者から寄せられ、人気の活動となった。利用者学習会としては、4月就労、12月署名、3月健康について取り組んでいる。

「にいじゅくまつり」や一泊旅行は中止、代替の館内イベント（4月、7月、10月、3月）では、外部のキッチンカーを呼ぶなど、楽しめる企画内容について利用者と共に話し合い、運営された。保護者会は年度内中止の中、2度役員の方々と懇談、さらにイベントの様子等をニュース配布、および対象・期間限定の動画配信を行った。給食では、減食8名、小カット2名対応、栄養士によるダイエット対策や「歯科アンケート」を実施。その他、防災訓練は2回、防災食を食べるなど防災意識向上に努めた。実習生受入れは支援学校生徒2名、大学生2名。

第三者評価を12月に受審。大規模な外壁・防水等修繕工事（12月～3月）を実施した。

I. 利用者状況 (2022年3月末現在)

1. 事業種別 定員

・事業種別 就労継続支援B型 ・定員 60名

2. 各月利用者数

(単位：人・%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
前月末	54	54	54	54	54	54
当月初	55	54	54	54	54	54
当月末	54	54	54	54	54	54
新入所者	1	0	0	0	0	0
退所者	1	0	0	0	0	0
利用率	79.2	86.1	85.0	85.6	84.2	86.1
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前月末	54	54	53	53	53	53
当月初	54	54	53	53	53	53
当月末	54	53	53	53	53	53
新入所者	0	0	0	0	0	0
退所者	0	1	0	0	0	0
利用率	85.8	87.5	90.3	86.0	82.9	87.0

年間平均利用率 85.5%

入所者：1名

退所者：2名

3. 男女別 男性38名 女15名

4. 居住地別 葛飾区53名

5. 年齢別

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計	平均年齢
男	1	6	14	8	7	2	38名	39.5歳
女	0	3	7	4	0	1	15名	37.0歳
計	1	9	21	12	7	3	53名	38.8歳
%	1.9	17.0	39.6	22.6	13.2	5.7	100.0	

6. 障害支援区分別

区分	人数
6	0
5	1
4	11
3	18
2	5
1	0
未判定	18
合計	53

7. 通所方法 自主通所 53名

II. 職員状況

1. 職員配置 (2022年3月末現在)

- 1) 管理者 1名 (常勤1名)
- 2) サービス管理責任者 1名 (常勤1名)
- 3) 生活支援員 1名 (常勤1名)
- 4) 職業指導員 10名 (常勤6名・非常勤4名)
- 5) 目標工賃達成指導員 1名 (常勤1名)
- 6) 就労支援員 1名 (常勤1名)
- 7) 栄養士 1名 (常勤1名)
- 8) 調理員 1名 (非常勤1名)
- 9) 事務員 1名 (常勤1名)

2. 職員数 (各月当初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
正職員	11	11	11	10	9	9
非常勤	7	7	7	9	9	9
計	18	18	18	19	18	18
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
正職員	10	9	9	10	10	10
非常勤	8	9	9	8	8	8
計	18	18	18	18	18	18

2021年度 グループホーム事業報告

2021年度は、5月より新しく介護サービス型グループホームフューチャーが開設し、入居者が7名増え、グループホーム総勢33名となった。フューチャー開設に伴い、職員増を図り、21年度において支援員7名、事務1名を採用した。

グループホームにおいて、入居者1名、職員3名が新型コロナウイルスに罹患、また、通所先で濃厚接触者と指定され、グループホームで待機した方が2名いた。陽性になった方は、いずれも軽症で、また、クラスターが発生することもなく終わることができた。しかし、熱等の症状があると、グループホームで全員が、対象者のPCR検査結果まちで待機することとなり、職員配置がそのたびに変わり、また、外にいけないストレスで、入居者、職員も不安な日々を送ることが多々あった。その中で、行事も縮小はしてきたが、少しでも楽しい生活が送れるよう、誕生会や食事会等、ホーム内で開催してきた。

コロナ感染症対策も各ホームでしっかり取り組んでいけるよう、責任者会議で、日々の取り組みを共有し、対策強化につなげた。

6ホームになったこともあり、情報共有を図るため、ほのぼの（電子請求システム）を活用し、支援計画、日誌等を共有するシステムの導入を図った。

ホーム全体の入居者が高齢化し、機能低下、認知障害、精神的な落ち込み、意欲低下等、その対応がむずかしくなっており、一人ひとりのケースについて、数名の入居者については医療、介護、後見人等、専門分野の方々の意見を日々とりいれながら、支援を充実してきた。健康のために、地域の理学療法士の方の協力や訪問の機能訓練マッサージを取り入れるなど、機能低下を防ぐ取り組みも引き続き行った。

第1章 利用者状況

2022年3月31日現在

1 定員と現員

(単位：人)

ケアホーム	ユニット	開設年月日	定員	現員		
				男性	女性	合計
かがやけ寮	プリエ	H11. 12. 1	5	4	1	5
	リベルテ	H24. 4. 1	4	3	1	4
	ラヴァンス	H29. 6. 1	4	2	2	4
エタンセール	エタンセール	H14. 3. 1	7	4	3	7
	アルクアンシエル	H18. 5. 1	6	4	2	6
	フューチャー	R3 5. 1	7	4	3	7
合計			33	21	12	33

2 入居者の状況（年齢の状況）

ユニット	20代	30代	40代	50代	60代	合計
ブリエ		1	1	2	1	5
リベルテ			1	3		4
ラヴァンス		1		3		4
エタンセール			5	1	1	7
アルクアンシエル		1	5			6
フューチャー		1	3	3		7
合計		4	15	12	2	33

3 入居者の状況（障害者支援区分の状況）

ユニット	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
ブリエ			3	1	1		5
リベルテ				2	2		4
ラヴァンス			3	1			4
エタンセール					1	6	7
アルクアンシエル				1	3	2	6
フューチャー					3	4	7
合計			6	5	10	12	33

第2章 職員状況

職員配置（2022年4月1日現在）

エタンセール

- (1) 管理者 1名（常勤兼務）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤）
- (3) 世話人 11名（常勤）
- (4) 生活支援員 23名（常勤9、非常勤14）
- (5) 事務 3名（常勤1、非常勤2）

かがやけ寮

- (1) 管理者 1名（常勤兼務）
- (2) サービス管理責任者 1名（常勤）
- (3) 世話人 8名（常勤4、非常勤4）
- (4) 生活支援員 10名（非常勤10）

2021年度 相談支援センターかがやけ事業報告

2021年度は、かがやけ福祉会が運営している事業所の利用者及び地域において障害福祉サービス事業を利用している方へのサービス等利用計画の策定について、サービス等利用計画は、208件（内法人外119件）、モニタリングは、386件（内法人外211件）を進めてきた。

定期の利用計画の更新やモニタリング報告の他、家族の病気や介護力低下などによって、本人に新たなニーズが生じた場合には、必要に応じて計画案の内容変更（家事援助、短期入所、GH入居等）を行ってきた。特に、今年度は、個別の事情により、自宅や葛飾区内で生活することが難しくなり、グループホームや入所施設へと生活の場を移すことになった利用者さん（16名）が多数いた。相談支援専門員としての専門知識の習得や支援技術向上のため、今年度も積極的に研修（新型コロナウイルス感染症対応のため前回オンライン開催）に参加をしてきた。

葛飾区主催（身体・知的相談支援部会・分科会—サロン）の研修への参加および、企画委員として1名、相談支援専門員研修の運営に携わってきた。

◎事業種別

指定特定相談支援事業

第1章 利用者状況

1. 各月サービス等利用計画・モニタリング策定数（ ）法人外在宅者等・内数

	サービス等利用計画	モニタリング	小計 (件)		サービス等利用計画	モニタリング	小計 (件)
4月	16(9)	29(15)	45(24)	10月	19(9)	34(18)	53(27)
5月	20(8)	27(14)	47(22)	11月	15(13)	40(20)	55(33)
6月	24(10)	23(17)	47(27)	12月	10(5)	42(24)	52(29)
7月	10(3)	21(15)	31(18)	1月	10(8)	25(12)	35(20)
8月	18(10)	33(18)	51(28)	2月	20(13)	31(13)	51(26)
9月	27(18)	39(23)	66(41)	3月	19(13)	42(22)	61(35)
小計	115(58)	172(102)	287(160)	小計	93(61)	214(109)	307(170)
				合計	208(119)	386(211)	594(330)

第2章 職員状況

1. 職員配置

- | | |
|------------|----------------|
| 1) 管理者 | 1名 (相談支援専門員兼務) |
| 2) 相談支援専門員 | 1名 |